

◆◆◆ 令和4年度総会を開催しました ◆◆◆

令和4年5月30日、ホテル千秋閣で開催した令和4年度吉野川交流推進会議総会において、事業計画等を協議いただきました。また、アドプト・プログラム吉野川参加団体・企業のうち、活動の顕著な団体・企業等に感謝状を贈呈しました。

交流事業

- ◆ アドプト・プログラム吉野川の推進
- ◆ 子どもの交流体験事業の実施
- ◆ 地域イベントとの交流事業の実施
- ◆ 三大河川交流事業の実施（流域間交流事業）
- ◆ 国土交通省との共催事業の実施
- ◆ 「恵みの宝庫『吉野川』創造プロジェクト」との連携事業の実施

情報発信事業

- ◆ 機関誌「四国三郎吉野川」の発行
- ◆ 写真コンテストの実施
- ◆ インターネットによる全国への情報発信
- ◆ 各種イベントでの活動のPR、パネル展など

会員の募集

- ◆ イベント等で入会案内を配布し、新規正会員、賛助会員を募集



新型コロナウイルスの影響で、令和2・3年度は書面決議。3年ぶりの対面開催となりました

三大河川交流 in 筑後川

行って来ました!!

平成24年に兄弟縁組を締結して以来、日本三大暴れ川の仲間達は互いに交流を深めてきました。令和4年は筑後川へ！ 11月26日・27日、日田市大山文化センター（大分県）で開催された「第21回九州『川』のワークショップ in 筑後」に、吉野川から15名が参加しました。「つなごう・つなごろう九州の川く水と森と命をまもるく」をテーマに、子どもの部4団体を含む37団体が活動を発表。翌日に選挙投票があるということで、発表する方も聞く方も力が入りました。夜はお待ちかねの懇親会。久しぶりの兄弟達との再会に笑顔がはじけ、話は尽きず……。『令和5年度は吉野川で会いましょう』と再会を誓い合いました。



持ち時間は3分間。工夫をこらした発表が次々と行われました



兄弟だるまもお目見えし、筑後川・利根川・吉野川の“顔”が揃いました。どうです、この笑顔！

交流体験 in よしのがわ

吉野川の豊かな自然のなかで 親子で学び、遊び、夏休みの思い出を！

吉野川に親しむとともに、地元の人々との交流を通じて連携を深めてもらおうと、今年も上・中・下流の3か所で「交流体験 in よしのがわ」を開催。水難事故防止講習も行い、川で遊ぶ時の注意、スローバックやライフジャケットの正しい使い方などをしっかり実習しました。



上流編 池田ダム湖でラフティングを体験!! R4.8/7

水上スポーツの拠点として整備が進んでいる池田ダム湖。上流編は、三好ラフティングチームを講師に、小学生親子20名がラフティングに挑戦しました。パドルの操作方法を教わり、6〜7人ごとにボートに乗り込んで、いざスタート！最初は思ったようにボートが進みません。かけ声を



出し、チームで息を合わせてパドルを漕ぐと、風を切って水面を走り出し、思わず歓声が上がりました。ほかに、ボートでレスキューの実習をしたり、泳いだりと水辺を満喫。川風も心地よく、吉野川に笑顔がはじけました。

中流編 吉野川でカヌー体験 R4.7/23、8/20

中流編は四国三郎の郷付近で、2回のカヌー体験を開催しました。川の達人・AMEMBOのスタッフの指導で、パドルの持ち方、漕ぎ方や姿勢、カヌーの操作方法などを教えてもらい、小学生親子56名がカヌー体験を楽しみました。ちいさな子もパドルを一生懸命に動かし、スイスイ進んでいきます。「気持ちよかった」「絵日記に描けるね」と笑い合う親子。いい思い出ができましたね。



下流編 おさかな博士の川魚かんさつ R4.8/5

常に13〜14種類の魚が観察できるという鮎喰川は川魚観察に最適。下流編は、井藤大樹さん（県立博物館主任学芸員）を講師に鮎喰川・梁瀬橋付近で川魚観察会を行いました。魚のつかまえ方のレクチャーの後、小学生親子18名が網を手に川へ。親子で協力しながら、カワヨシノボリ、シマドジョウ、カワムツなどおなじみの魚をゲット！魚についての先生の解説も楽しく、子ども達は熱心に聞き入っていました。夏休みの自由研究もこれでバッチリ！

